

兵庫県保険医協会

明石支部



2018. 7. 15

No. 299

投稿歓迎!

兵庫県保険医協会明石支部

支部長 吉岡 巖

神戸市中央区海岸通一丁目二番三二号

神戸フコク生命海岸通ビル五階

TEL〇七八―三九三―一八〇(代)

FAX〇七八―三九三―一八〇二

明石支部臨床研究会に29人参加

『日常診療で役立つ麻痺やしびれのみかた』

明石支部は5月31日、ウイズあかし会議室で臨床研究会「日常診療で役立つ麻痺やしびれのみかた」を開催。神戸中央市民病院副院長・神経内科部長の幸原伸夫先生を講師に、29人が参加した。岡光一先生からお寄せいただいた感想文を掲載する。

幸原先生のお話は簡潔明瞭で、神経内科は難しい、とつつきにくいと印象が変わり、大変有意義でした。内容を一部紹介します。



幸原伸夫神戸中央市民病院副院長・神経内科部長が、「上肢(手)の麻痺には、パレー徴候の有無を」と診断法を実演しながらわかりやすく講義した

まず神経内科の呼び方について、

患者さんが神経内科を心療内科と混同することがあるなどの理由で

「2・3年以内に脳神経内科と呼ぶようになる」とのことです。慣れるのに少し時間がかかりそうです。

神経内科でよくみられる症状として、①頭痛、②めまい・ふらつき、③しびれ、④麻痺などがあります。

①頭痛では「片頭痛が最も多く、10人のうち1人はいわゆる頭痛持ちである」。また「90%は心配のないものだが、初めて経験する頭痛は要注意である」。

②めまい・ふらつきでは「薬による影響はないか、睡眠は足りているか」を確認すること、診断では「継ぎ足歩行や片足立ちができるか、できれば特に問題なし」。

③しびれでは「手のしびれのうち70%は手根管症候群で、夜中や早



Baelz による日本で最初のパーキンソン病患者の写真 (1901)

朝に症状が強く、手を振ると回復しやすい」

④麻痺では「上肢(手)の麻痺を診るときはパレー徴候の有無を見ると良い」。これは両腕を前方にまっすぐ伸ばし(手のひらを上にして)その状態を維持する方法です。割と力が必要で、軽度の麻痺でも捉えやすいです。

その他「便秘のないパーキンソン病患者はいない」「パーキンソン病の初期症状は左右どちらかである」「老人でてんかんを疑ったら、専門医を紹介する前に薬(イーケプラ)を投与するのもいいだろう。この薬は副作用が少なく、投与しやすい」

「ウイルス性の脳炎はウイルスそのものの作用以外に、免疫(アレルギー)が関与している。間質性肺炎がそうであるように。このことは病気を理解する上での今のトレンドの一つである」以上のような分かりやすい内容がたくさんありました。途中質疑にも活発に応じた

だき、2時間ほどの講演会の中で30分以上が質疑応答の時間となりました。また、参加者がそれぞれの席で手足を使った簡単な診断法を実践しました。いつの日か、再び先生のお話を聞きたいです。

【明石市 岡 光一】

パーキンソン病は

基底核障害の代表

1、安静時振戦

片手あるいは片足の振るえから始まることが多いが無いこともある

2、固縮、筋強剛

腕や手首などの筋肉がこわばる

3、無動、寡動(特徴的)

自然の動きが少ない、表情が乏しい、思うように動きだせない、スムーズに動けない

4、姿勢、姿勢反射障がい

前傾姿勢、バランスをくずして転びやすい

パーキンソン病の症状

運動系: 振戦、固縮、寡動、姿勢反射障害、構語障害、嚥下障害、体軸が傾く、小字症、ジストニー、ジスキネジア(ドーパ治療時)、すくみ足、

paradoxical gait

自律神経系: 便秘、排尿障害、発汗異常、立ちくらみ(起立性低血圧)

精神症状: うつ状態、幻視、幻覚譫妄(ドーパ剤使用時に多い)

その他: 疲れやすい、よだれ、痴呆等、レム睡眠行動異常

明石支部 第14回納涼懇親会のご案内

舞子ビラで絶景バーベキュー!

8月18日(土)午後7時30分~9時

シーサイドホテル舞子ビラ神戸・テラス

(JR「舞子駅」、山電「舞子公園駅」徒歩7分
・駅から無料シャトルバスも有)



大人: ①お酒有: 通常6,500円のところ **4,000円**
(ソフトドリンク・ビール等飲み放題)

②お酒無: 通常4,500円のところ **3,000円**
(ソフトドリンク飲み放題)

小人(3歳~小学生): 通常2,500円のところ **2,000円**
(キッズメニュー、ソフトドリンク飲み放題)

定員: 90人(申込先着順・下記にてFAXでお申込み下さい)

今年も企画しました! 明石支部第14回納涼懇親会舞子ビラで絶景BBQ!

真夏の夜の楽しいひとときを、明石海峡を見晴らすテラスで過ごしませんか? 毎回大好評で、去年は91人ものご参加をいただきました。第14回目の今回も、牛・豚肉、焼き野菜のバーベキューと、食べ放題のサトウビュッフェ(サラダ、カレー、唐揚げ、フルーツ、デザート等)を特別価格で企画しました。先生はもちろん、ご家族、スタッフのみなさまの親睦、福利厚生にお役立て下さい。(雨天強風時はホテル宴会場での開催になります。ご了承下さい。) **FAX 078-393-1802**

8月18日明石支部納涼懇親会参加申込書・申込締切8月10日

医療機関名	連絡先TEL
参加代表者名	FAX
参加人数: 大人: ①お酒有	人、②お酒無
	人、小人: 人

兵庫県保険医協会 明石支部 接遇研修会(医療安全管理研修会)のご案内

日経 **メディカル** でおなじみ **ANA** / **元CA** による

医療機関向け接遇研修会

日時 7月28日(土) 午後2時~4時

会場 あかし保健所1階ホール (旧明石市産業交流センター)

講師 (株)マザーリーフ代表取締役

ホスピタリティコンサルタント **榎原 陽子 先生**

参加費 1,000円 (医療安全管理研修「受講証」発行) 定員 100人

明石支部では、新人スタッフからベテランの方も含めた接遇研修を毎年開催し好評を得ております。接遇スキルの向上が、医療への信頼や患者満足度を一層高めることにつながります。今回の講師、榎原陽子先生は、元ANA客室乗務員でチーフパーサーとして人材育成のご経験もあり、現在は、社会保険労務士として医療・介護事業者向けスタッフ教育事業等を手掛けるマザーリーフを設立。日経メディカルオンラインで、医療機関への覆面調査を通して、医療機関が気付きにくい問題点と解決策を浮き彫りする『榎原陽子のクリニック覆面調査ルポ』を連載もされています。

この機会にぜひ多数ご参加いただき、接遇のスキルアップにお役立ていただければ幸いです。なお、医療法で医療機関に全職員を対象とした年2回の「医療安全管理」研修が義務づけられ、「信頼関係構築のためのコミュニケーション能力の向上」が研修内容の一つとなっています。本講座を「医療安全管理研修会」としても位置付けて開催し、「受講証」を発行します。

7月28日明石支部接遇研修会参加申込書 **FAX 078-393-1802**

地区[]	医療機関名[]
TEL[]	FAX[]
参加者氏名[]	職種[]
参加者氏名[]	職種[]